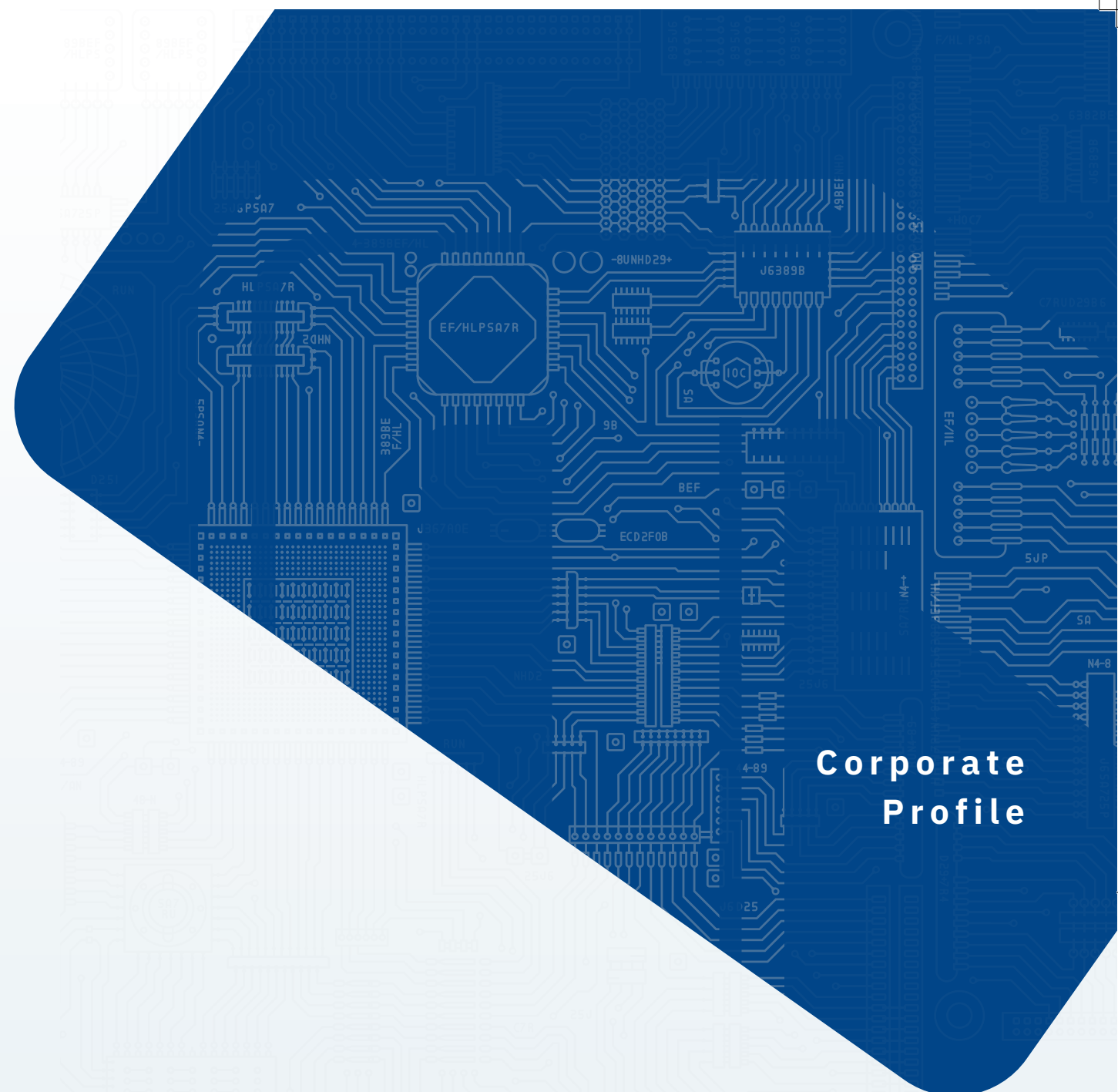


Company profile

会社概要

商号	東新工業株式会社
代表	代表取締役 山崎 慎介
拠点	本社横浜工場(神奈川県) いわき好間工場(福島県) 松本工場(長野県) いわき四倉工場(福島県)
創業	昭和41年8月(1966年)
設立	昭和44年4月(1969年)
資本金	9,000万円
事業目的	めっき加工業 上記に付帯または関連する一切の業務
関連会社	鈴木東新電子(中山)有限公司本社・第一工場、第二工場
取得認証	ISO9001、ISO14001



知と技を融合し
社会に新しい便利を届ける



ホームページ



リクルートサイト



 東新工業株式会社

知と技を融合し 社会に新しい便利を届ける

世界水準の技術と高い創造力で、
常にめっき業界をリードしていきます

当社では、新しいめっき加工方法の開発と同時に
加工設備の開発も同時に行っています。
そのために新加工技術も使用する設備装置も内製化しています。
このことにより、低コスト・高生産性・高品質を実現しています。
めっき技術は、ハイテクとローテクが融合した
工程管理の非常に難しい分野ですが、
確かな現場力と納期への対応力が、お客様との信頼につながっています。



ご挨拶 / 経営理念 Message / Philosophy	03
当社のあゆみ History	05
めっきについて Our Solutions	07
「知」と「技」について Experience&Technology	09
製品・技術 Product Introduction	12
工場紹介 Factory	15
CSRへの取組み CSR Initiatives	20
福利厚生 Benefits	21

Message



ご挨拶

高度成長期を経てバブル経済を経験した我が国の製造業は長く冬の時代を過ごしています。その間には、小さな回復期を甘受するもそのたびに大きな変化が繰り返され、厳しい環境に適應せざるを得ない試練にも晒されました。

大きな変化の代表例はリーマンショックのような経済災害や東日本大震災などの自然災害が挙げられるでしょう。こういった外部環境に起因する試練を受けながら、グローバル化という大きな波にも対処しなければならなかったのが平成という時代ではなかったでしょうか。令和という新しいエポックに入るまでに、製造業を生業とする企業がどれほど淘汰されたかは想像に難くありません。我々東新工業も製造業を生業とする企業の一つであります。非常に矮小で影響力も小さい企業ではありますが、幸いにも今までの試練には耐えてこられました。

私が今日(こんにち)に至るまでの企業運営において培ったことは、企業運営は持続可能な発展のみ受け入れられるという経験則です。それは往々にして困難な命題であり、ついその選択を見失いがちですが、当社の行動理念である一枚岩の結束により、お客様からのご要望については逃げずに向かい合ってきたという自負があります。勿論、その要望全てに応えられたかどうかは私どもが判断すべきではないので、いささか手前みその弁にはなりますが、兎も角も眼前に課題に対処する方法が二つあるとすれば、お客様のご要望を達成する可能性がある一方にチャレンジする気持ちは忘れぬように経営してきたつもりであります。

今後も関係するすべての皆様からのお叱りを覚悟のうえで、我々が信ずる共存共栄の発展に繋がる会社にしていく所存です。これからも新たな出会いと挑戦に巡り合うことを楽しみにしております。



代表取締役社長

山崎 慎介

Philosophy 経営理念

常に先見性を持ち、活力ある組織を駆使して
魅力ある製品・サービスを提供し
社会に貢献する。

社是



協調



向上



オンリーワン

目配り

Slogan

スローガン

声配り

気配り



History

当社のあゆみ

1970



12月
東京都大田区下丸子に移転

1984



10月
現本社工場落成。
新鋭部分金めっき自動機
20台を設置

10月
現本社工場敷地内には
はんだ及び銀の
全面めっき専用の
第二工場を落成

2004



4月
代表取締役社長に
山崎慎介就任

8月
ISO14001認証

2006



3月
福島県いわき市の
好間中核工業団地に
好間工場落成

8月
本社敷地内に
新事務棟落成

4月
神奈川労働局より
快適職場に認定

2019



10月
長野県松本市の
新松本工業団地に
松本工場落成

1966	1969	1970	1974	1979	1981	1984	1989	1990	1998	2001	2002	2004	2005	2006	2007	2008	2012	2019	2020
昭和41年	昭和44年	昭和45年	昭和49年	昭和54年	昭和56年	昭和59年	平成元年	平成2年	平成10年	平成13年	平成14年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成24年	令和元年	令和2年

3月
川崎市幸区に
フープ材の部分金めっき
加工を目的とした
ワイエス技研株式会社
設立

7月
フープめっき部門の
拡充強化を図るため、
横浜市緑区川和町に
フープめっき専用工場
を落成、稼働開始

9月
本社事務棟
(東京都大田区)落成。
同時に東京工場排水処理
設備を全面更新

4月
バレルめっき部門を
閉鎖し、本社所在地を
横浜工場に移転

1月
神奈川県優良工場
表彰
8月
ISO9001:2000
認証

4月
かながわ中小企業
モデル工場指定

10月
株式会社鈴木と
中国広東省中山市に
鈴木東新電子(中山)
有限公司を設立

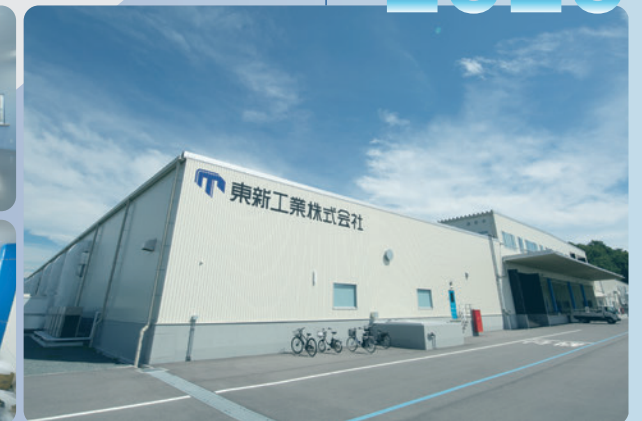
10月
中国浙江省の
寧波埃斯科光电有限公司
との間に技術サポート
サービス契約を締結

1969



4月
有限会社佐々木鍍金工場と合併、
東新工業株式会社設立、
代表取締役社長に山崎五郎就任

7月
福島県いわき市四倉町の
四倉中核工業団地に
四倉工場落成



2020

Our Solutions

エレクトロニクスを支える“めっき技術”でテクノロジーの未来を繋ぐ

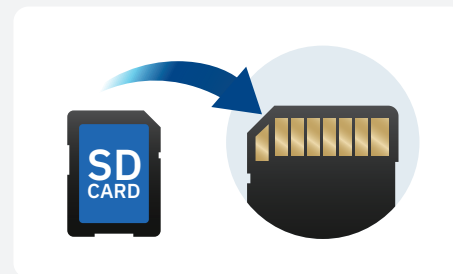
当社は、スマートフォン、タブレット、ゲーム機などの日常生活で使用される身近な電子機器から、自動車部品や産業機械に至るまで、幅広い製品に内蔵されている電子コネクタに対し、精密なめっき加工を施しています。これにより、製品の性能向上や耐久性の向上を実現し、お客様に高品質なソリューションを提供しています。当社の先進的な技術と豊富な経験に基づいためっき加工は、様々な業界で高い評価を得ています。



What is Plating?

めっきとは?

めっきとは、物体の表面に金属の薄い層をコーティングする技術です。これにより、物体の耐久性が向上し、摩耗や擦り傷に強くなります。また、防錆効果もあり、錆びにくくなって腐食から保護されます。さらに、物体の外観が美しくなり、装飾的な価値が高まるため、めっきは多くの製品で使用されています。特定の金属でめっきを施すことで、電気の通りが良くなり、電子機器の性能が向上することもあります。当社が特に得意とするのは金めっきであり、これにより高い電気伝導性を実現しています。



耐食性



摩耗や擦り傷に強くなる

防食性



錆びから守る

装飾性



外観を美しく

電気伝導性



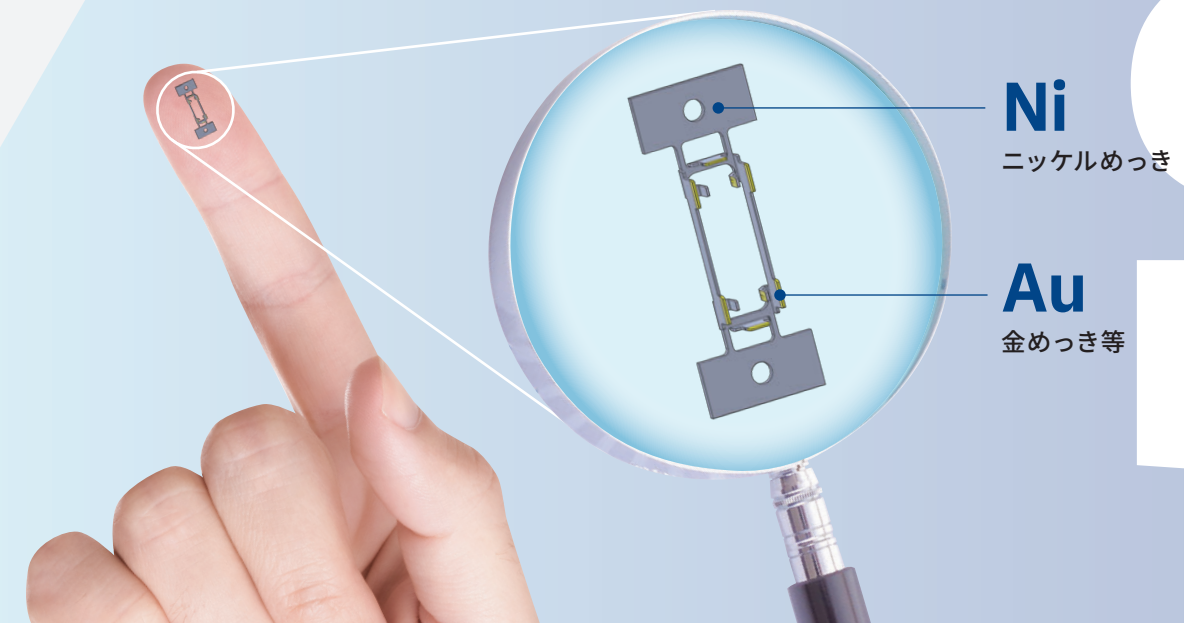
電気の通電性が向上

「こんなに小さくめっき!？」

当社が得意とする精密めっきの一例をご紹介します。

独自の加工方法により、ミクロン単位の精度でめっき幅を調整することができます。調整幅の最小寸法は加工方法により異なりますが、最小のもので50 μ m(*)のめっき区分を作ることができます。

*レーザー加工時のNiバリア最小寸法



Experience

知


知の融合で未来を創る

当社には、専門的な資格を持つ優れた社員が多数在籍しています。
 彼らは長年にわたり培ってきた豊富な知識と経験を駆使し、常に最先端の技術を追求しています。
 私たちの「知」は、単なる技術や理論にとどまらず、
 現場での実践と応用を通じて磨かれてきた確かなものです。
 これにより、お客様に信頼される高品質な製品とサービスを提供し続けています。
 このプロフェッショナルな知識が、
 新しい価値と便利さを社会に届ける私たちの原動力となっています。



Qualifications

有資格者


 めっき技能士 特級 …… **3名**
 めっき技能士 1級 …… **40名以上**
 めっき技能士 2級 …… **60名以上**
2024年5月時点

 QC検定 1級 …… **2名**
 QC検定 2級 …… **10名以上**
 QC検定 3級 …… **90名以上**
2024年5月時点

 工学博士 …… **3名**

 ものづくりマイスター

 毒物劇物取扱責任者
危険物取扱者

 電気工事士
アーク溶接作業者

他多数

Awards

受賞歴

独自の加工方法と高い技術力が評価され、これまでに多くの賞を受賞してきました。
 近年では令和5年に「ものづくり日本大賞」の優秀賞を受賞し、業界内外から高い評価を得ています。
 これらは当社の技術力の高さと継続的な努力を裏付けるものであり、今後も技術革新を続け、さらなる成長を目指して参ります。

- 平成17年11月 はんだの広がり防止する微小バリア層を形成する技術で「第22回神奈川工業技術開発大賞」を受賞
- 平成18年 4月 最先端の電子部品をめっき加工する世界的技術で「明日の日本を支える 元気なモノ作り中小企業300社」に認定
- 平成26年10月 高精度・高速スポットめっき処理技術で「第31回神奈川工業技術開発大賞・ビジネス賞」を受賞
- 平成29年12月 地域経済の成長の柱として期待される企業として、「地域未来牽引企業」に選定
- 令和 5年 1月 製造・生産工程における画期的なシステムや手法の開発・導入によって新たな付加価値を創出したとして、第9回「ものづくり日本大賞」(製造・生産プロセス部門)の優秀賞受賞



Technology

技

フープ材部分めっきのリーディングカンパニー

フープ材部分めっきは、リールに巻かれた金属材料を連続・高速で必要な部分だけにめっきを付ける加工手法です。

当社は加工方法を自社開発し生産設備の内製化に反映して、低コスト、高生産性、安定した品質を実現しています。

このような、独自手法による生産設備の内製化が、高い技術力の源となっており、めっき業界を牽引していく存在であり続ける大きなポイントです。



Specifications

めっき仕様

表層めっき処理として、硬質金めっき (AuCo)、パラジウム-ニッケルめっき、スズめっき (リフロー) があります。金めっきは、所定の場所へ部分的にめっきすることが可能です。また、パラジウム-ニッケルめっきはストライプ状に部分めっきすることができます。スズめっきについては、基本的には液面制御による部分めっき方式で加工します。当社フープラインはフレキシビリティがありますので、その他の各種めっきについてもご相談いただければ対応できる場合があります。

めっき仕様一覧

素材～下地めっき

素材	形状	プレス成型品		条材	
	材幅	～80mm		～80mm	
材厚	0.05mm～0.8mm		0.05mm～0.64mm		
材質	銅合金	SUS		銅合金	
下地めっき	種類	Niめっき		Niめっき	
	膜厚	～5μm	～1μm	～5μm	

表層めっき

素材	形状	プレス成型品			条材	
	種類	硬質 AuCo	PdNi	無光沢 Sn (リフロー)	硬質 AuCo	無光沢 Sn (リフロー)
表層めっき	膜厚	～2μm	～0.5μm	～5μm	～2μm	～5μm
	めっき幅	0.2mm～	1mm～	5mm～	1mm～	5mm～

※表層めっきは2種類以上選択して組合せることが可能です。
※同一種類の表層めっきを数箇所をめっきすることが可能です。

Point 1 設備内製へ特化



当社では生産技術部と呼ばれる技術部門があり、めっき設備の設計から製造、組み立てを担っています。フープめっき技術のコアとなる部品の治具の開発・製作に特に力を入れており、お客様のニーズにオーダーメイドで治具の設計・製造ができ、一早く試作、量産ができるようになっています。

Point 2 品質へのこだわり

「生産の使命」は「品質を維持、向上させる事」をモットーに作業標準の統一、従業員への浸透・順守など全社一丸となって取り組んでいます。お客様に満足いただける安定かつ高い品質・サービスを提供できるように一層の品質向上活動に邁進していきます。

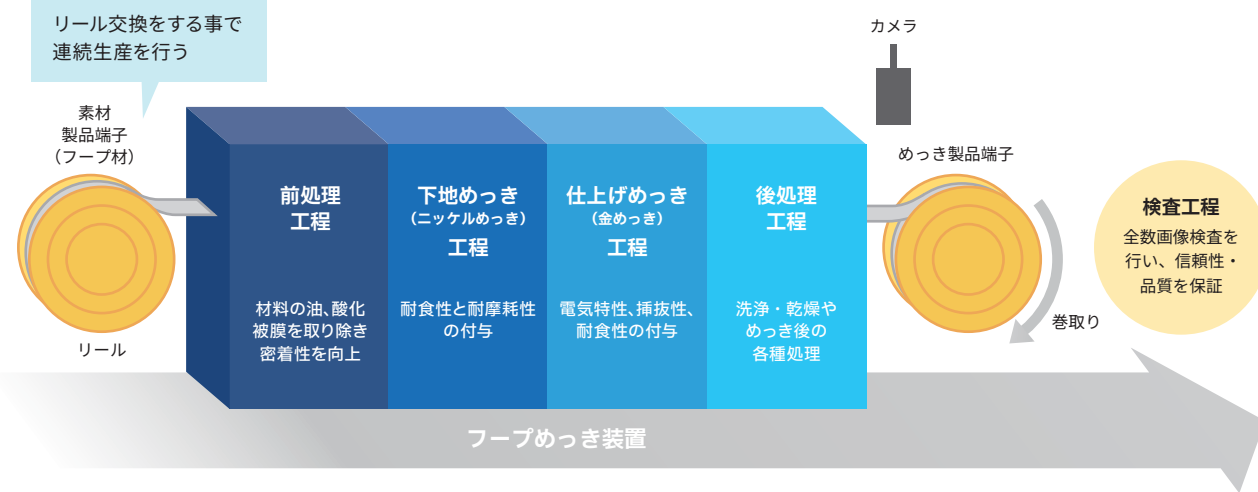


Processing

めっき加工方法

加工工程

リールに巻いた素材を送り出し、薬品を通して、めっき加工を行います。
その後、製品をそのままリールに巻き取る「リール to リール方式」が当社の主流になります。



リフロー処理 (Sn,Sn-Cu)

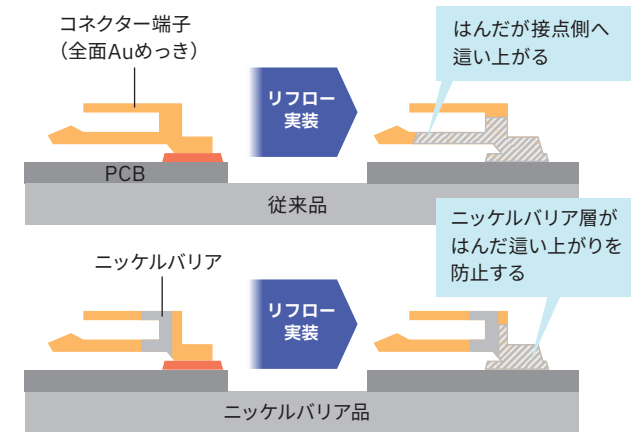
スズ (Sn)めっきの欠点として、めっき皮膜からウイスカと呼ばれるヒゲ状の金属単結晶が自然発生します。このウイスカは導電性があるため、成長すると端子間のショートを引き起こし、電子部品を破損させる恐れがあります。その対策として有効な手段の1つがリフロー処理です。リフロー処理とは、めっき後に皮膜に熱を加えて溶融させ、内部応力を緩和する処理のことです。当社のSn,Sn-Cuめっきでもリフロー処理を施すことにより、ウイスカの抑制はもちろんのこと、膜厚が厚いため、はんだ濡れ性が良好という特性を併せ持ちます。



ニッケルバリア

コネクタ端子は、他の部品 (コネクタ、ケーブルなど) と接続するため、コンタクト (接点) 部と基板に実装するはんだ接合 (実装) 部を有しています。

このようなコネクタ端子の全体に金めっきしてしまうと、部品実装時にはんだが接点部に這い上がり、接点不良などの問題につながります。この問題を解決するために当社独自技術として開発されたのが、ニッケルバリアです。接点部と実装部の間にはんだ濡れ性の悪いニッケルめっきの領域を形成することで、実装時のはんだ這い上がりを防止します。



部分めっき

部分めっきとは、材料に下地となるニッケルめっき加工を行い、必要な部分にのみ金などのめっき加工を施す手法です。加工方式としては、液面制御方式、スパージャー方式などがあります。金以外にもパラジウム、スズ、スズ銅などの部分めっき加工が行えます。



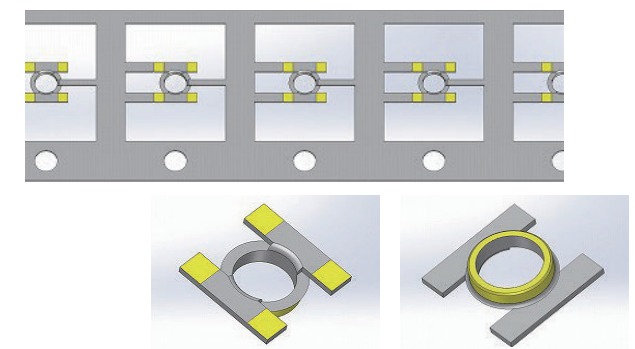
製品導入イメージ



スポットめっき

複雑な形状のマイクロコネクタ端子には、ストライプ上の金めっきではなく、所定の場所にスポット的に金めっきを析出させる必要があります。

当社では、独自の内製治具を使用してスポット金めっきをすることが可能です。スポット金めっきエリアの最小径はφ0.15mmとなります。



技術革新の本拠地

本社 横浜工場

Yokohama Headquarters



進化し続ける中核工場

好間工場

Yoshima Factory



Feature

特徴

めっき技法の研究開発から試作品の立ち上げまで迅速かつ柔軟に対応することができます。また、人事や経理、経営企画や海外事業など本社機能を担う本社工場となっています。



事務所

Equipment

設備紹介

当工場では、長年めっき装置の自社開発・製造に於いて蓄積したノウハウで新規アイテムの試作品から量産品まで幅広い加工が迅速に対応できます。プレス加工前の条材に部分めっきするラインと打抜加工後のプレス材に部分めっきや全面めっきするラインがあります。



工作室

Feature

特徴

「雇用優良企業」や「地域牽引企業」など地域貢献活動が高く評価されています。また、高品質かつ海外に負けない低コストで安定した加工を行う量産工場です。



生産現場

Equipment

設備紹介

長年蓄積した設備内製のノウハウで加工のスピードアップを実現し、材料の自動巻き取り機の設置や全ライン監視装置の導入などにより、安定した品質で加工を行うことができます。



めっきライン

Outline | 概要

土地	4,393㎡(約 1,300坪)
建物	重量鉄筋造工場4階建 延 42,741㎡ 1棟
	重量鉄筋造工場2階建 延 1,330㎡ 1棟
	軽量鉄筋造工場2階建 延 672㎡ 1棟

検査・試験設備

EPMA、蛍光X線膜厚測定器、原子吸光度計、紫外可視分光光度計、金属顕微鏡、マイクロスコープ、フラットミリング、塩水噴霧試験装置、ソルダーチェッカー、測定顕微鏡、実体顕微鏡

工作設備

TIG溶接、プラズマ切断機、旋盤、フライス盤他工作機

その他設備

金属回収装置、排気ガス処理装置、エアーコンプレッサー

住所 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2丁目10番13号 TEL 045-785-1800(代) FAX 045-785-1811

Outline | 概要

土地	12,171㎡(約2,780坪)
建物	重量鉄筋造工場1階建 延2,417㎡(約731坪)
	重量鉄筋造工場1階建 延952㎡ 1棟(第二工場)
	重量鉄筋造工場2階建 延1,860㎡ 1棟(管理棟)
	重量鉄筋造工場1階建 延308㎡ 1棟(排水処理棟)

検査・試験設備

蛍光X線膜厚測定器、金属顕微鏡、測定顕微鏡、実体顕微鏡、卓上走査電子顕微鏡、マイクロスコープ、塩水噴霧試験装置、ICP発光分光分析装置、原子吸光度計、紫外可視分光光度計、自動滴定装置、自動塩素滅菌装置

工作設備

CNC旋盤加工機、汎用旋盤加工機、フライス盤、他工作機

その他設備

排水処理設備、排気ガス洗浄設備、コンプレッサー

住所 〒970-1144 福島県いわき市好間工業団地 16-11 TEL 0246-47-1800(代) FAX 0246-47-1810

未来の技術と職人の育成

松本工場

Matsumoto Factory



新しい時代の生産拠点

四倉工場

Yotsukura Factory



Feature

特徴

従来の製品に加え、産業用機器を中心とした少量多品種の受注に対応できる“ショートライン”の展開をしています。

全ての工程を一人で責任を持って管理ができ、良品を作る情熱を持った、現代の職人を育てる工場でもあります。



生産現場（ショートライン）

Equipment

設備紹介

今までの工場で改良を重ねてきたスポットめっきラインやレーザー処理設備が導入されています。ショートラインでは切替の速さで多種多様な製品の対応ができます。



生産現場（スポットめっき）

Outline | 概要

土地 10,476㎡(約3,169坪)

建物 重量鉄筋造工場4階建 延7,029㎡(4,540坪)

住所 〒390-1242 長野県松本市和田4020-6 TEL 0263-60-9800(代) FAX 0263-60-9810

検査・試験設備

蛍光X線式膜厚測定器、測定顕微鏡、レーザー顕微鏡、実体顕微鏡、マイクロスコープ、溶剤チェッカー、原子吸光度計、紫外可視分光光度計

工作設備

5軸加工機、汎用旋盤、NCフライス

その他設備

排水処理設備、金属回収装置、RO装置、混床塔装置、多段式電解殺菌装置、排気ガス処理装置、エアコンプレッサー

Feature

特徴

ファクトリーオートメーション化の実現を目指していると同時に、めっき工程には自動化を排除したアナログな設備もあえて取り入れ、人が工程と向き合い自ら問題解決のできる泥臭いめっき職人を育てる環境にもなっています。



技術棟

Equipment

設備紹介

計100ラインのキャパシティと処理能力200t/日の排水処理設備を持っている東新工業の最大規模の工場です。全長100m級の装置を製作できるスペースもあり、当社の技術を集約した開発拠点にもなっています。



生産現場（スポットめっき）

Outline | 概要

土地 40,011㎡(約12,103坪)

建物 重量鉄筋造工場2階建 延14,841㎡
重量鉄筋造技術棟 1階延972㎡

住所 〒979-0201 福島県いわき市四倉町字栗木作192-5 TEL 0246-30-9800(代) FAX 0246-30-9810

検査・試験設備

EPMA、蛍光X線式膜厚測定器、測定顕微鏡、レーザー顕微鏡、実体顕微鏡、マイクロスコープ、溶剤チェッカー、ICP発光分光分析装置、原子吸光度計、紫外可視分光光度計

工作設備

5軸加工機、NC旋盤、汎用旋盤、NCフライス、平面研削盤、プレス機

その他設備

排水処理設備、金属回収装置、RO装置、混床塔装置、多段式電解殺菌装置、排気ガス処理装置、エアコンプレッサー

CSR CSRへの取り組み

地域と共生し、地域に根付く環境にやさしい企業へ

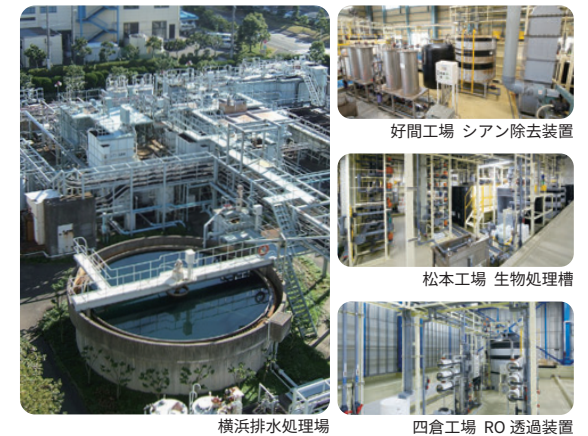
環境への取り組み

環境方針

地球環境保全への取り組みを経営の最重要課題の一つとして位置付け、企業活動のあらゆる面で環境側面に配慮し、「資源循環型社会の構築」を目指す積極的活動を行います。また、全ての従業員は当社の主たる事業活動である電子部品の電気めっき加工を通して、「環境に優しく、綺麗で、効率の良い企業」の実現を目指します。

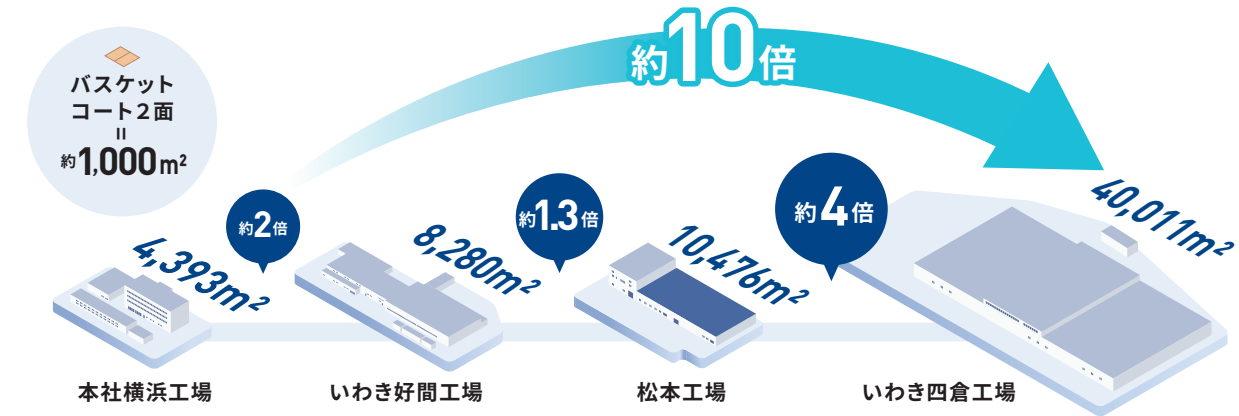
排水処理設備

本社横浜工場では、環境にやさしい都市型めっき工場を目指しています。排水は隣接する横浜市排水処理場に集められて一括処理されています。好間工場、松本工場、四倉工場の排水処理は工場間の経験と実績を取り入れると共に、工場独自のアイデアを織り交ぜながら活動を展開しております。排水処理施設は、超精密ろ過を行うと共に、BOD(生物化学的酸素要求量)規制に対処するため、生物処理槽を設けるなどの工夫を行っています。また、2001年にISO14001を取得し、環境負荷低減活動を推進しています。



Topics 4工場を並べてみると

4つの工場を土地面積で比較すると、最も広いのは40,011m²のいわき四倉工場で、最小は4,393m²の横浜工場になります。しかしながら、横浜工場は3棟合わせて延べ面積44,743m²もあり、建物においては他の工場に匹敵する広さを持っています。



関連会社 鈴木東新電子(中山)有限公司

Suzuki-Toshin Electronics(ZhongShan)Co.,LTD.

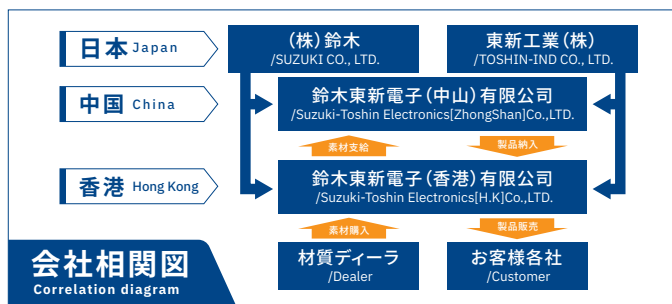
鈴木東新電子(中山)有限公司

世界の工場と自他共に認める中国華南地方に位置するプレス工程・めっき工程一体工場

プレス工程は(株)鈴木が担当し、めっき加工は東新工業(株)が担当するというコンセプトの基に、平成19年10月に操業を開始し、場所は日系メーカーの多い広州市にほど近い中山市のハイテク産業開発区に位置します。現在、プレス加工機21台、めっき加工機3台(9ライン)、従業員100名が稼働しており、順次拡張していく計画です。



めっき工場



Outline | 概要

床面積	本社工場:8,500m ² 、新工場:1,930m ²
生産設備	精密高速プレス機.....21台 フープめっき装置.....3台(9ライン)
機器	工具顕微鏡、実体顕微鏡、膜厚測定器、 原子吸光度計、分光光度計、画像寸法測定器
住所(プレス)	〒528-445 広東省中山市三角鎮高平村進源路6号

社会への取り組み

地域活動

横浜の団地清掃

本社横浜工場では団地の清掃に積極的に参加しています。



地域貢献

いわきの献血

いわき地域では、雇用優良企業に選出され、献血功労者として表彰されました。また、ITの活用や産学官連携で経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定されました。



工場見学

各工場では地域の学校や組合などの団体・個人の工場見学を積極的にを行っています。



Benefits 福利厚生

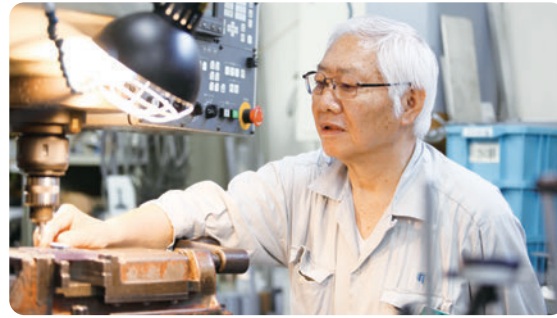
あらゆる角度から社員生活をバックアップ

ダイバーシティ

再雇用

シニア活躍

定年退職後の再雇用という形で、シニア社員の活躍推進に取り組んでいます。豊富な経験やスキルを基に、安心して働ける環境となっています。



働きやすい環境作り

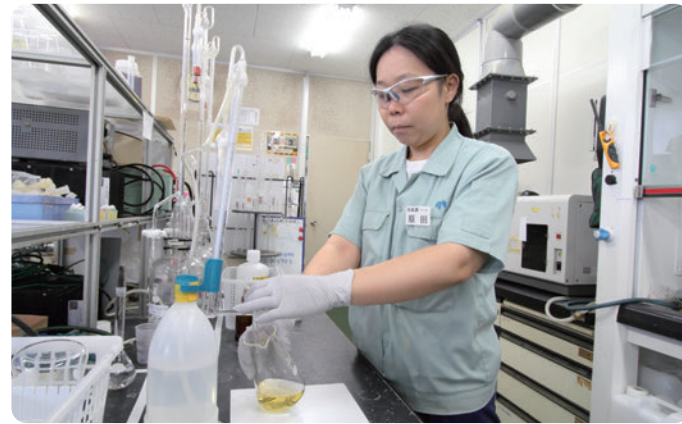
女性活躍

キャリアデザイン

当社では、全社員の約30%が女性であり、女性が働きやすい環境づくりに力を入れています。積極的に女性の管理職登用を進めており、現在では10名以上の女性が管理職を含む役職で活躍しています。

このような取り組みが評価され、2018年度から横浜市より「グッドバランス賞」に継続して認定されています。この賞は、女性の活躍や仕事と家庭の両立を支援する企業に与えられるものであり、当社の福利厚生の充実と働きやすさへの取り組みが評価された証です。

また、当社では、社員の生活をサポートするために、住宅手当、家族手当、精勤手当など多様な手当を支給しています。有給休暇の取得率向上についても積極的に推進しており、全社員が安心して働ける職場環境の整備に努めています。



施設

食堂、休憩室、更衣室、作業場内空調を完備しているほか、松本工場や四倉工場には来客スペースや従業員の憩いの場を中心に地元の芸術家の方たちの作品が点在しています。



社員寮

福島県いわき市四倉町にある「四倉寮」は、2023年に完成した東新工業初の社員寮です。敷地面積1,142㎡の土地にA棟とB棟の2棟が立ち、部屋数は合計32部屋になります。技能実習生をはじめ、従業員が快適に生活できる場として活用されています。このほかにも借り上げ社宅制度を実施し、遠方出身者でも安心して働けるようにサポートしています。



部活動

野球部とマラソン部があり、野球部は2022年に横浜市の地域リーグの一部に昇格して更なる活躍が期待されています。幅広い年齢層が集るマラソン部は、松本市近郊の安曇野マラソンや横浜市近郊の三浦マラソンなど、毎年様々な大会に参加しています。



野球部



マラソン部